

八戸学院大短期大学の学生で結成した「けっぱレンジャー」。認知症への理解と予防をPRする



認知症啓発 活動中!!

八学短大生「けっぱレンジャー」

八戸

八戸学院大短期大学の介護福祉学科2年生が、認知症への理解と予防策を知ってもらうと自らヒーローに扮し、「KAIGOきらめき隊☆けっぱレンジャー」としてPR活動を展開している。9日、八戸市鮫町にある緑ヶ丘団地の集会所に地域住民約20人が集まり、レンジャーを含む2年生たちが認知症の症状や予防策を伝えた。

同日は、同学科講師の岩館亜沙美さんが「新しい認知症観について」と題して講話。続いて、5色のコスチューム姿のレンジャー5人が登場し、後出しジャンケンやゆっくりと音読して頭を働かせる「遅口ことば」、2年生で考案したオリジナルの認知症予防体操などで盛り上がった。

同学科の取り組みで、同市の学生まちづくり助成金を活用した。昨年は、介護福祉の仕事の魅力を子どもたちにも分かりやすく伝えるため「介足」と話した。

(船渡拓)